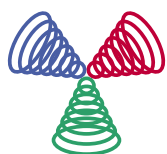


# Annual Report 2006

2006年度年次報告書



財団法人 横浜市芸術文化振興財団

## CONTENTS

ごあいさつ	3
ミッション&ビジョン	4
トピックス～話題のできごと～	6

### 活動内容 ～6つのC～

Creation	8
Chance	9
Collaboration	10
Contact	11
City Appeal	13
Media Communication	14

財団活動趣旨・事業内容・概要・財務状況	15
---------------------	----

アーツ・マップ	16
---------	----

施設紹介	18
------	----

役員一覧・別紙

2008年2月発行  
このアニュアル・レポートは2006年度の活動状況を報告  
しておりますが、皆様に特にお知らせしたい内容につい  
ては、2006年度以外のものも併せて掲載しています。



## ごあいさつ

財団法人横浜市芸術文化振興財団は、美術、音楽、古典芸能、演劇、舞踊等あらゆるジャンルの芸術を総合的に振興することに努めています。

私たちは、創造的で質の高い美術展の開催や舞台芸術の公演、新たな才能あるアーティストを発掘・紹介するコンクールなどを通じて、横浜独自の芸術文化を発信しています。

こうした活動を通して、「市民力」＝「市民の活力と知恵、文化に対する関心」が高まるよう努力をしています。

一方で、「文化力」＝「市民自身が持つ創造性」が、ますます向上するよう多様な取り組みを進めています。地域住民と共に制作したオリジナル演劇、ジャズ祭のボランティア、地域での芸術文化活動のサポート、学校へのアーティスト派遣や地域の芸術文化施設の提供など、市民自身による芸術文化活動の支援を行っています。

横浜は、2008年には3年に一度の現代美術の祭典「横浜トリエンナーレ」開催、2009年には横浜港開港150周年という大きな節目を迎えます。

私たちは、開港以来培ってきた横浜の文化的伝統を生かしつつ、市民の持つ「市民力」「文化力」の向上に努め、芸術文化を通して横浜が明るい未来に向かって発展するよう貢献して参ります。

この度、私たちの日ごろの活動を、皆様によりよく理解していただくため、この「アニュアルレポート2006」を発行いたしました。ご高覧いただき、ご意見をいただければ幸いです。また、私たちの活動をご支援、ご協力いただけますようお願いいたします。

財団法人横浜市芸術文化振興財団  
理事長

澄川 喜一

A handwritten signature in black ink, reading '澄川 喜一' (Akira Terakawa). The signature is written in a fluid, cursive style.

## Mission

### ミッション～私たちの使命

財団法人横浜市芸術文化振興財団のミッションは、芸術文化活動を通して「ゆとりと生きがいに満ちた市民生活」と「文化芸術創造都市・横浜」の進展を図ることです。

『日常生活の中に美術や音楽が身近に存在し、芸術文化を通して自己表現・実現をし、生きていく価値観を見いだす事ができ、他者との価値観を共有（コミュニケーション）できること』

『横浜の持つ歴史や国際的な土壌を活かしながら、「横浜」を世界にアピールしていく芸術文化を制作し、発表していくこと』

『それらを通して「横浜」の魅力が高まり、人や産業が集まることで活気が生まれ、住んでみたい街・横浜をめざすこと』

これらのことを、市民・文化団体・NPO・企業等の皆様方と力をあわせて実現してまいります。

## Vision

### ビジョン～目標の実現化

このミッションをより効果的、効率的に実現させるため、「中期経営ビジョン～クリエイティブ・シティ・アーツプラン2010～ Creative City Arts Plan 2010 (C-CAP2010)」を2006年度に策定しました。これは、2006年度から2010年度までの5年間に行なうべき取り組みや目標を定めたものです。

ビジョンの中で定めた中心的な取り組みは、以下の7点です。

- ①「横浜独自の芸術文化事業の発信」
- ②「中間支援機能の充実」
- ③「政策提案・政策支援・調査研究機能の充実」
- ④「情報提供機能の充実」
- ⑤「多様な人材の育成」
- ⑥「コスト削減と必要財源の確保」
- ⑦「経営戦略に基づく財団経営」

この「中期経営ビジョン」第一期にあたる2006年度は、横浜ならではの芸術文化の制作・発信や、市民やNPOの支援協力事業など、芸術文化を創造するための取り組みを行いました。なお、当財団が2006年度に全施設で開催した公演・展覧会等の数は、1,245事業です。これは1年間で1日平均3.4事業を実施していることとなります。こうした催し物に会場していただいたお客様は3,044,285人。実に横浜市総人口約360万人の84%に相当します。

また、経営面でも経費削減や外部資金獲得などに努めています。組織のスリム化・フラット化にも取り組み、ミッション実現に向けた体制づくりを進めています。

## 魅力に満ち、活気あふれる街を目指して

当財団は、横浜市の文化芸術政策に沿って、これまでに芸術文化活動の現場で培ってきた専門性やノウハウを活かしながら、より効果的な事業の実施を行なっています。また、市民との協働を進めるとともに、横浜市に対して、市の文化政策が市民や企業の皆様のニーズに即し、かつ都市の魅力を高める提言を行なう機関としての役割も担っていきます。

横浜市中心部では、現代美術やコンテンポラリーダンスなど、世界の最先端に行く先進的・実験的な事業を実施したり、旧銀行など歴史的建造物をスタジオやアトリエとしてアーティストに貸し出す支援事業、また、デザイン、映像・コンテンツなどの創造的な産業の集積にも取り組んでいます。そうした産

業が横浜に集積することで、世界中の人々にとって、「横浜」がより魅力的な都市になることを目指しています。

また市内全域で、市民や文化芸術団体、NPO等と協働し、芸術文化の側面から地域を支え、活気づけることを目指しています。具体的にはアウトリーチ事業の展開やコミュニティ活動の支援などを行なっています。

下記の6つのCに加え、横浜市内に点在する14文化施設の管理運営も当財団のミッションを達成するため重要な活動となります。市民の皆様に親しまれ、よりよく活用していただけるような運営体制を整えています。

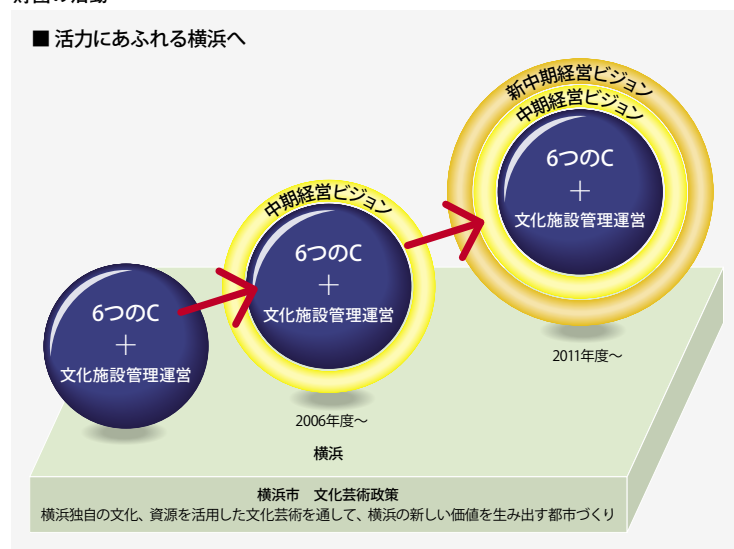
## 当財団の中核をなす活動「6つのC」

### Creation, Chance, Collaboration, Contact, City Appeal, Media Communication

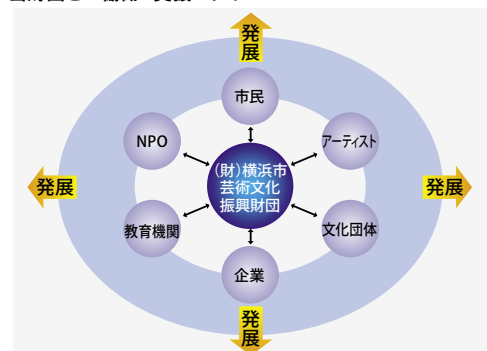
当財団のミッションを達成するために中心となる活動は、美術、音楽、舞台芸術などの芸術文化活動および情報事業です。この活動はその目的別に「6つのC」に分類されています。

<b>Creation</b>	<b>芸術創造・発信</b> 独自の視点から企画され、横浜の個性となるものです。
<b>Chance</b>	<b>芸術家発掘・支援</b> 新進芸術家に活躍のチャンスを提供し、その創造活動を支援します。
<b>Collaboration</b>	<b>市民協働推進</b> 文化団体やNPOと協働して、芸術文化事業に取り組みます。
<b>Contact</b>	<b>芸術への市民アクセス拡大(鑑賞、体験・参加・学習)</b> 市民が芸術文化に触れる機会を広く提供します。
<b>City Appeal</b>	<b>都市政策</b> 地域資源や地元組織とのネットワークを活用して、横浜を活性化します。
<b>Media Communication</b>	<b>広報・情報</b> フリーペーパーやホームページで横浜市内の文化情報を発信しています。

#### 財団の活動



#### 当財団との協働・支援スタイル



## 『公立美術館134館実力調査』で最高ランクAAAを獲得 横浜美術館

平成18年10月14日付で発表された「美術館の実力調査」（日本経済新聞社実施）は、全国の主要公立美術館134館を総合的に評価するもので、横浜美術館は最高ランク「AAA」を獲得しました。企画展や「横浜美術館コレクション展」といった美術館活動の核となる『観る』、「市民のアトリエ」「子どものアトリエ」等の『創る』、「美術情報センター」における美術情報の提供などの『学ぶ』を、総合的に体験できるのが横浜美術館。このように、市民に広く開かれた美術館として活動してきた「地域貢献力」が高く評価されました。



「最高ランクAAA」を獲得



横浜美術館外観

## 横浜大衆芸能の拠点として定着 横浜にぎわい座

全国でも珍しい公立の演芸場。毎月前半は「常打ち公演」として、落語をはじめ大衆芸能に触れる機会を毎日提供しています。2006年度には5万人ものお客様をお迎えしました。人気の秘密は、オリジナリティ溢れた演目や定評のシリーズ公演、落語と文楽などの異ジャンル競演をはじめ、多彩な演目を楽しむことができること。また、若手噺家が小ホール「のげシャール」での公演を重ね、ついにはメインホール「芸能ホール」での独演会を実現する流れもでき、若手実演者にとっても自らの芸を披露し、研鑽する絶好の場となっています。



横浜にぎわい座外観



「のげシャール」から出発し「芸能ホール」での公演を実現させた立川笑志さん

## 歴史的建造物と古典、最先端アートが融合 「横浜あかりアーツコラボレーション2006『悠久の声』 —高野山・比叡山の声明—」 横浜能楽堂

2006年にオープン10周年を迎えた「横浜能楽堂」。地元ゆかりの井伊直弼が作った能「筑摩江」を百数十年の時を経て初演するなど、注目度の高い事業を展開しています。こうした意欲的な活動が評価され、山崎有一郎館長が古典芸能界での権威「松尾芸能賞」能楽功労賞を受賞しました。また横浜の歴史的建造物を会場とし、古典芸能と「あかり」を融合させた「横浜あかりアーツコラボレーション」を開催。横浜ランドマークタワー、歴史的建造物ドックヤードガーデン（国重要文化財）を舞台とし、比叡山と高野山の二大霊山の声明の初共演に加え、世界的照明デザイナー石井幹子氏による最先端の「あかり」とのコラボレーションが実現しました。



「筑摩江」

「横浜あかりアーツコラボレーション2006『悠久の声』 —高野山・比叡山の声明—」

## 横浜の冬の風物詩～アートとエンタテインメントの融合『アートリンク』 横浜赤レンガ倉庫1号館

横浜の人気観光スポットの横浜赤レンガ倉庫1号館では、2005年より若手芸術家による「コンテンポラリーアート」作品と「スケートリンク」をドッキングさせた『アートリンク』をスタートしました。時間によって色が変化する幻想的なライティングや、スピードによって色が変わるスケート靴についた照明など、スケートリンクにプラスアルファの要素としてアートが加わり、横浜の冬の風物詩として定着しました。難解と思われがちなコンテンポラリーアートを、スケートをしながら気軽に楽しんでもらえる機会として話題になり、2006年度の来場者は7万人を超えました。



アートリンク2006

## 世界的な演出家のもと、若手芸術家やスタッフが横浜に集結 『横浜オペラ未来プロジェクト2006』 横浜みなとみらいホール

横浜みなとみらいホールが初めて取り組んだオペラプロジェクト。バイエルン国立歌劇場監督やケルン州立歌劇場総裁なども歴任した、世界的演出家のミハエル・ハンペ氏が芸術顧問と演出を担当。横浜育ちで、欧州の歌劇場などで活躍する村中大祐氏が芸術監督・指揮を務め、オーディションで選ばれた若手音楽家を国際的なレベルで指導しながら、作品を作りあげるプロジェクトです。コンサートホールの優れた音響をそのままに、舞台と客席とを一体化させた劇場空間は、オペラ上演にふさわしい雰囲気となりました。また、単に作品を上演するだけでなく、舞台セットの設営風景やリハーサルの様子を公開。より多くの市民の方々に、オペラに親しんでもらうきっかけ作りにも取り組んでいます。

2007年4月には作曲家・池辺晋一郎氏が館長に就任。さらに企画充実の期待感が増し、多くの音楽ファンの注目を集めています。



公開リハーサル風景



芸術顧問・演出/  
ミハエル・ハンペ氏



音楽監督・指揮/  
村中大祐氏

# Creation

芸術創造・発信

芸術文化の専門知識や芸術文化施設、国内外のネットワークを活用し横浜オリジナルの作品を発信

開港以来外国文化を常に受け入れてきた気風とともに発展してきた横浜の歴史や、進取の精神にあふれる横浜市民の気質を内包しており、「横浜オリジナル」の魅力を持つ事業です。このジャンルの芸術文化事業は、市民の方にいかに最先端の芸術文化を鑑賞し、参加していただくかがコンセプトです。多くのきっかけ作りを通して、市民に新しい芸術文化を提案し、共感を得ること、刺激を与えることで、都市「横浜」とそこに住む市民の将来像とともに描いていくことを想定しながら制作されています。

## ● クラシカル・ダンス・パフォーマンス「踊るアジア」

2年間にわたって舞踊を通してアジア諸国の交流を図った「アジア古典舞踊プロジェクト」。その集大成のパフォーマンス「踊るアジア」を制作しました。韓国、タイ、バリ、日本と各国の舞踊コラボレーションに斬新な演出を加えた個性的な舞台が好評を博しました。横浜能楽堂が企画・制作し、練習場として横浜にぎわい座のげしゃーレを使用。公演は磯子区民文化センターで行なうなど施設間ネットワークが活かしたプロジェクトでした。

主催：横浜能楽堂

開催期間：制作合宿 2007年2月18日（日）～3月1日（木）

公演 2007年3月2日（金）

会場：磯子区民文化センターホール、横浜にぎわい座のげしゃーレ



「踊るアジア」

## ● 横浜ダンスコレクションR

アジア最大級のコンテンポラリーダンスフェスティバル。「アジアのダンスマーケット」として注目されています。フェスティバルには海外からダンスディレクターが来場、参加アーティストと直接交流し、新進振付家の海外での公演が実現するなどの成果も見せています。

主催：横浜赤レンガ倉庫1号館

開催期間：2006年12月14日（木）～2007年1月28日（日）

会場：横浜赤レンガ倉庫1号館、ランドマークホール



横浜ダンスコレクションR

## ● 上原まり「瀬戸内源氏」を語る

筑前琵琶奏者・上原まりが、瀬戸内寂聴現代語訳「源氏物語」全帖をオリジナル台本で上演する企画です。一流演奏家が奏でる音楽と語りを身近に聴けると好評で、スタートから4年目を迎えた2006年度も毎回多くの方にご来場いただきました。

主催：岩間市民プラザ

開催日：2006年4月23日（日）、8月6日（日）、2007年1月21日（日）

会場：岩間市民プラザホール

新進のアーティストにスポットライトをあて、活動のチャンスを提供

新人アーティストや、新しい表現・実験的な創作活動に挑戦する新進アーティストへの支援を行っています。アーティスト自身のみでは確保することが難しい練習・制作場所の提供や、舞台公演出演権をかけたオーディション、海外でのフェスティバル参加への支援など、多様なチャンスを提供します。「横浜」でチャンスを掴み、日本国内外各地で活躍するアーティストのこうした活動が「チャンスにあふれた魅力的な街」という横浜のイメージアップ効果を生み出しています。

## ●「横浜オペラ未来プロジェクト2006」

オーディションで選ばれた若手歌手や演奏家、スタッフが世界的な指導者のもと、オペラを制作しました。参加した歌手2人は「グラインドボーン音楽祭」(イギリス)のオーディションへ派遣され、その後の活躍の場を広げました。

主催：横浜みなとみらいホール  
開催日：2006年8月26日(土)  
会場：横浜みなとみらいホール大ホール

## ●アーティスト ミーツ 大佛次郎～「帰郷」～

2005年横浜美術館レジデンス・アーティストであり、若手日本画家として注目される藤井雷が横浜ゆかりの作家大佛次郎の小説「帰郷」を読み、その舞台であるマレーシアを訪れ、その体験からインスピレーションを受けて描いた新作日本画を発表。若手アーティストによる新しい芸術表現を試みました。

主催：大佛次郎記念館、横浜山手芸術祭連絡会  
開催期間：2007年1月23日(火)～2月25日(日)  
会場：大佛次郎記念館2階ギャラリー

## ●ギターと語りの世界「プラテロとわたし」

ギター演奏家・堀井義則と朗読の講師である劇団民藝の伊藤ひろこによる公演。地元出身のアーティストによる演奏を、地域の人々に身近に体験してもらう機会として好評です。また演奏家にとっては、地域での知名度をあげ、今後の活動の場をひろげるきっかけとなりました。

主催：吉野町市民プラザ  
開催日：2007年1月28日(日)  
会場：吉野町市民プラザホール



横浜オペラ未来プロジェクト2006  
モーツァルト作曲オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」



アーティスト ミーツ 大佛次郎～「帰郷」～

# Collaboration

市民協働推進

市民や文化団体、NPO法人、地域コミュニティとの協働

これまで文化施設内を中心に展開していた活動を一歩ひろげ、地域に飛び出し、市民と協働して文化事業に取り組んでいます。芸術文化を通して、商店街や福祉施設が地域とのコミュニケーションを図っていくためのコーディネートも行っています。地域住民自らが芸術文化を経験し、事業を企画・制作することで、地域に注目が集まり、活性化の原動力となることをめざします。

## ● 3バカヘッズと行く「三ツ境商店街おもしろ発見ツアー」

駅前商店街に若手パフォーマンストリオ・3バカヘッズが登場。事前に何度か商店街を訪問し、地元の隠れた魅力を発掘しました。ツアー当日は、時には店主と掛け合いながらお笑いネタを披露しつつ、商店街の魅力を観客に紹介しました。3バカヘッズ目当ての人や、たまたま目にしたツアーに思わず足を止める人も多く、商店街が多くのお客様で賑わいました。

開催日：2006年12月16日（土）  
会場：三ツ境南口商店街（瀬谷区）



3バカヘッズと行く「三ツ境商店街おもしろ発見ツアー」

## ● せやまるハウス「夏休み子どもプロジェクト」

区民が企画した夏休みのイベントに対し、「色のオリエンテーリング」など3つのアートワークショップにアーティストを派遣。子どもたちが地域で芸術文化に触れる機会を提供しました。

開催期間：2006年8月21日（月）～25日（金）  
会場：せやまるハウス（瀬谷区）



せやまるハウス「夏休み子どもプロジェクト」

## ● 「アートお届け隊サポーター塾」

「教育プログラム」をテーマに市民向けアートマネジメント講座を開講。講座を通して、文化活動実施の際に主体的に活動する人材とのパートナーシップの確立を目指しました。

開催期間：2007年1月～3月  
会場：男女共同参画推進センター横浜ほか（戸塚区）

# Contact I

芸術への市民アクセス拡大 I

市民が幅広いジャンルの芸術文化を鑑賞する機会を創出

当財団が管理運営する施設をはじめとした文化資源を幅広く活用します。また、財団以外の施設、学校、公園等での鑑賞型アウトリーチ活動にも取り組んでいます。様々な場所で市民が幅広いジャンルの芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供し、施設や芸術文化事業へ足を運んでくれる新たな層をひろげるきっかけともなっています。

## ●日本×画展 しょく発する6人

独創的な活動を展開する6人のアーティスト・藤井雷、松井冬子、しりあがり寿、中村ケンゴ、小瀬村真美、中上清の作品を紹介。「日本画」の一般的な概念を超えた展示となり、その独自の切り口が話題となりました。

主催：横浜美術館、神奈川新聞社、tvk  
開催期間：2006年7月15日(土)～9月20日(水)  
会場：横浜美術館

## ●新年カウントダウン寄席

「笑門来福」。笑って年を越したい」「年末年始に寄席を鑑賞したい」というお客様のニーズに応じて企画された公演。早々にチケットが完売するほどの人気で、年末年始の野毛地区に賑わいをももたらしました。

主催：横浜にぎわい座  
開催期間：2006年12月31日(日)～2007年1月1日(月)  
会場：横浜にぎわい座芸能ホール

## ●横浜美術館がやって来た!

横浜北部地区の市民に、横浜中央部に位置する横浜美術館の収蔵作品を気軽に楽しんでいただく機会を提供。横浜市民ギャラリーあざみ野と横浜美術館を多くの皆さんに知っていただくきっかけとなりました。

主催：横浜市民ギャラリーあざみ野  
開催期間：2006年11月1日(水)～12日(日)  
会場：横浜市民ギャラリーあざみ野展示室

## ●こちら、第3惑星圏アジア州ニッポン郷Isogo

出演者、運営スタッフを区民から公募。応募者はプロスタッフと共に、地域を題材に演劇を制作しました。鑑賞する市民にも身近に感じられる舞台を発信することができました。

主催：磯子区民文化センター  
開催日：2007年1月27日(土)～28日(日)  
会場：磯子区民文化センターホール



日本×画展 しょく発する6人



こちら、第3惑星圏アジア州ニッポン郷Isogo

# Contact II

芸術への市民アクセス拡大 II

体験・参加・学習を通して芸術文化に親しむ活動

芸術文化を「鑑賞」するだけでなく、「体験」「参加」「学習」することでより身近に感じてもらえるよう美術やダンス、音楽、演劇などの多様なワークショップを開催。また学校へアーティストを派遣する体験型アウトリーチ活動も実施しています。子どもから大人まで、市民誰もが芸術文化を体験、参加、学習できる機会を提供しています。

## ●ハマキッズ・アートクラブ

年に数回子どもたちが「作る楽しさ」を体験するプログラム。ボランティア記者が活動の様子を取材して情報誌『アートヨコハマ』に記事を寄稿するなど、市民の文化芸術活動への新たな参加形態をつくりました。

主催：横浜市民ギャラリー  
開催日：2006年11月23日(木・祝)「オブジェを作ろう!」、12月9日(土)「織り織りアート」、2007年3月3日(土)「ダンボールアート」  
会場：横浜市民ギャラリー地下1階アトリエ

## ●ワンダーアイズプロジェクト in あさひ2006

横浜市内の多くの子ども達が参加した、子どもの視点で社会を切り取る写真プロジェクト。写真展では、海外で行なわれたプロジェクトの写真も展示。横浜の、そして世界の子どもたちが何を見ているのか、何が見たいのかを感じさせる展示になりました。

主催：旭区民文化センター  
開催期間：ワークショップ 2006年6月10日または11日、24日または25日  
写真展 2006年8月22日～8月27日  
会場：旭区民文化センターミーティングルーム、ホールほか

## ●夏休み1日施設開放デー

横浜市内8施設が連携し、各種の催しを行いました。「地域の芸術文化拠点」としてその存在をアピールすることにもつながっています。

開催日：2006年8月  
会場：区民文化センター、市民プラザ 全8館

## ●芸術文化教育プログラム(学校での芸術文化体験プログラム)

アーティストが市内小学校を訪れ、音楽、美術、演劇、古典芸能などを通して子どもたちと交流し、創造力を育成する事業です。子どもたちにとってはアーティストに接する貴重な機会になるとともに、この事業を体験する過程の中で、新しい視点や可能性を育む機会となっています。一方アーティストにとっても、子どもたちとの交流で新たな発想を得ることができる興味深い体験となっています。

開催期間：2006年7月10日(月)～2007年2月23日(金)  
会場：市内各小学校(22校)



ハマキッズ・アートクラブ「ダンボールアート」



芸術文化教育プログラム

# City Appeal

シティ・セールス

芸術文化を通して、集客・産業・観光振興を図り、「横浜」の名前を世界へ発信

日本のジャズ「発祥の地」として知られる横浜。そのジャズが街中に流れるイベントや、歴史的建造物など横浜市内の有形無形の資産を活用した大型イベントを開催。このジャンルは話題性が高いため、市外からも大勢の観客が横浜を訪れます。マスコミでとりあげられることも多く、「横浜」からの文化発信の積み重ねが、横浜に文化産業やアーティストを呼び寄せ、アートマーケット構築の下地作りにもなっています。

## ● 横濱ジャズプロムナード2006

横浜の歴史的・文化的資源や観光スポットなどを総合的に活用したジャズフェスティバル。1993年から毎年開催し、横浜の秋の風物詩としてすっかり定着しました。国内外のプロミュージシャンに加え、小学生から社会人までのアマチュアバンド、市民ボランティア、市内ジャズクラブ、商店街などが多数参加する、横浜の街をあげてのジャズのお祭りです。2006年も過去最高の132,000人の方にご来場いただきました。

開催日：2006年10月7日（土）、8日（日）  
会場：関内ホール、開港記念会館、横浜赤レンガ倉庫1号館、みなとみらいホール、情文ホール、大さん橋ホールほか市内各所  
114会場（2日間のべ）

## ● 創造都市交流2006

2005年のEU・日本市民交流年を契機にスタートした「創造都市交流事業」。「教育とアート」をテーマに、英国、シンガポールへの視察と両国の事例を国内で紹介するシンポジウムを横浜にて開催。教育現場におけるアートの新たな可能性を探りました。

開催日：シンポジウム2007年2月2日（金）～2007年2月3日（土）  
会場：横浜美術館レクチャーホール

## ● みなと横浜演劇祭2007

2005年度まで10回開催してきた市民団体主体の演劇フェスティバル「横浜アートLIVE」を一新し、「みなと横浜演劇祭」としてパワーアップ。公募劇団による多数の公演に加え、2009年の開港150周年に向け、横浜の発展に寄与した人物を題材とする開港3部作に取り組み、2006年度は「岡倉天心」をテーマとしたオリジナル作品「海狐―岡倉天心のころ」の制作・上演を行いました。

開催期間：2007年3月1日（木）～2007年3月31日（土）  
会場：関内ホール、横浜赤レンガ倉庫1号館、横浜にぎわい座のげシャレほか

## ● 横浜みなとみらいホール

### ジルヴェスターコンサート2006～2007

2006年は若手演奏家にスポットをあて、フレッシュな演奏を披露。ビュッフェ付のチケット販売も新たに設けるなど、年末年始のコンサートがより華やかに演出されました。毎年完売となる人気コンサートです。

主催：横浜みなとみらいホール  
開催日：2006年12月31日～2007年1月1日  
会場：横浜みなとみらいホール大ホール



横濱ジャズプロムナード2006



みなと横浜演劇祭2007「海狐―岡倉天心のころ」

# Media Communication

横浜市内の芸術文化情報の収集・発信

横浜市内で開催されるコンサートや演劇、展覧会など、芸術文化に関する情報を市民の方に提供するため広報活動に力を入れています。横浜市内の文化団体、NPOが開催する文化事業の情報をひろく収集し、情報誌やホームページで提供しています。

ホームページでは、市民が気軽に問い合わせができる「ご意見・お問い合わせフォーム」を設けており、一方的な情報提供ではなく、双方向のコミュニケーションができる広報をめざしています。そのほか、映像による広報ツールの開発も行なうなど、市民が気軽に文化情報にアクセスできる環境の整備に努めています。

## ● ヨコハマ文化情報 (情報誌)

コンパクトなサイズに  
横浜市内の芸術文化情報がぎっしり

A5サイズ 毎月22日発行 発行部数 40,000部

横浜市内で開催される芸術文化情報をコンパクトな情報誌にまとめています。当財団主催のものだけでなく、他組織が開催する情報をカレンダーにして紹介。注目アーティストのインタビューや、当月のオススメ情報、チケットプレゼント情報も掲載。市内各所で無料配布しています。※2008年5月号よりタイトルを「ヨコハマ・アートナビ」に変更予定。

### ◆ 配布場所

市・区役所、地区センター、行政サービスコーナー、市内(観光案内所、文化施設、図書館、スポーツセンター、主要郵便局)ほか



## ● ヨコハマ・アートナビ (ホームページ)

いつでも新鮮! 最新情報をチェック

<http://www.yaf.or.jp/>

「ヨコハマ・アートナビ」は、横浜市内で開催される多彩な芸術文化情報をリアルタイム提供しています。また、情報誌の特集ページや記事のバックナンバー閲覧が可能、当財団の概要も常時公開しています。



## ● アートチャンネル (映像資料)

横浜のアートシーンに  
ホームページから気軽にアクセス

<http://www.tvk-bb.tv/art-channel/>

横浜美術館、横浜みなとみらいホールなど財団が運営する文化施設やアーティスト情報、横浜で行われた様々なイベントなど多彩な内容を動画で提供する「アートチャンネル」。テレビ神奈川の関係会社であるtvkコミュニケーションズとの協力により、web、テレビ、街頭画面など多面的な情報発信を目指しています。



## 財団活動趣旨・事業内容・概要・財務状況

### 活動趣旨

横浜市は、開港以来の輝かしい歴史的遺産を現代の街づくりに生かすとともに、新たな個性を加え、魅力的で活力にあふれた都市として成長してまいりました。

これからの横浜が、心豊かにいきいきとして暮らせる街としてさらに発展し続けていくためには、これまでの文化的集積の上に、次代に引き継ぐ豊かな市民文化を創造していく必要があります。

芸術文化活動それ自体は、市民一人ひとりの自発的、自主的な営みです。私たち財団は、市民の自由な芸術文化活動に対し、様々な環境の整備・充実を図ることにより支援していくことがその役割です。また、横浜市が目指す、国際性豊かな「文化芸術創造都市横浜」を実現するためには、市民の皆様やNPO、企業の方々との幅広い連携と協働が図られなければなりません。

財団法人横浜市芸術文化振興財団は、こうした連携のもとに市民の芸術文化活動への支援、芸術家の創造活動への支援及び横浜文化の発信という機能を発揮することにより、芸術文化の振興を図り、もって真のゆとりと生きがいに満ちた市民生活の実現と国際文化都市・横浜の進展に寄与することを目的として活動を行っています。

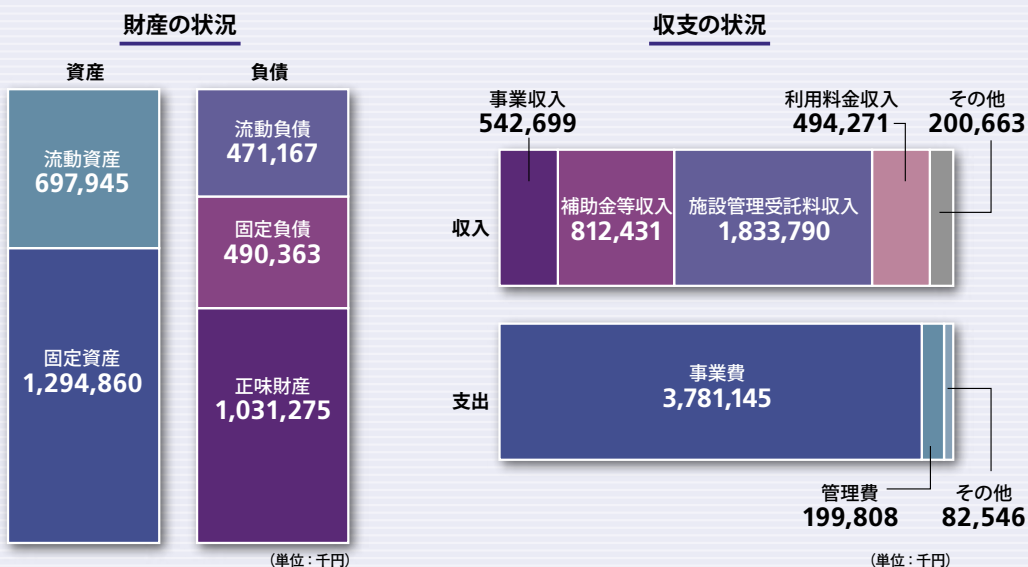
### 事業内容

1. 芸術文化事業の企画及び実施
2. 芸術文化活動の奨励及び育成
3. 芸術文化情報の収集及び提供
4. 芸術文化に関する調査及び研究
5. 芸術文化施設の管理及び運営の受託
6. 売店及び駐車場の経営
7. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 概要

名称	: 財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	: 〒231-0003 横浜市中区北仲通4-40 商工中金横浜ビル5階
目的	: この法人は、美術、音楽、演劇等の芸術文化活動を総合的に振興することにより、開港以来培われてきた豊かな文化的伝統の維持と横浜市独自の芸術文化の推進を図り、もってゆとりと生きがいに満ちた市民生活の実現と国際文化都市・横浜の進展に寄与することを目的とする。
設立年月日	: 1991年7月10日
沿革	: 1976年(財)大佛次郎記念会設立 1987年(財)横浜市美術振興財団設立 1991年(財)横浜市文化振興財団設立 1999年(財)横浜市文化振興財団と(財)大佛次郎記念会が統合 2002年(財)横浜市文化振興財団と(財)横浜市美術振興財団が統合、現在に至る

### 2006年度 財務状況





## 横浜市全域

### 地域課題をアートで解決することにより 「地域が元気に！」

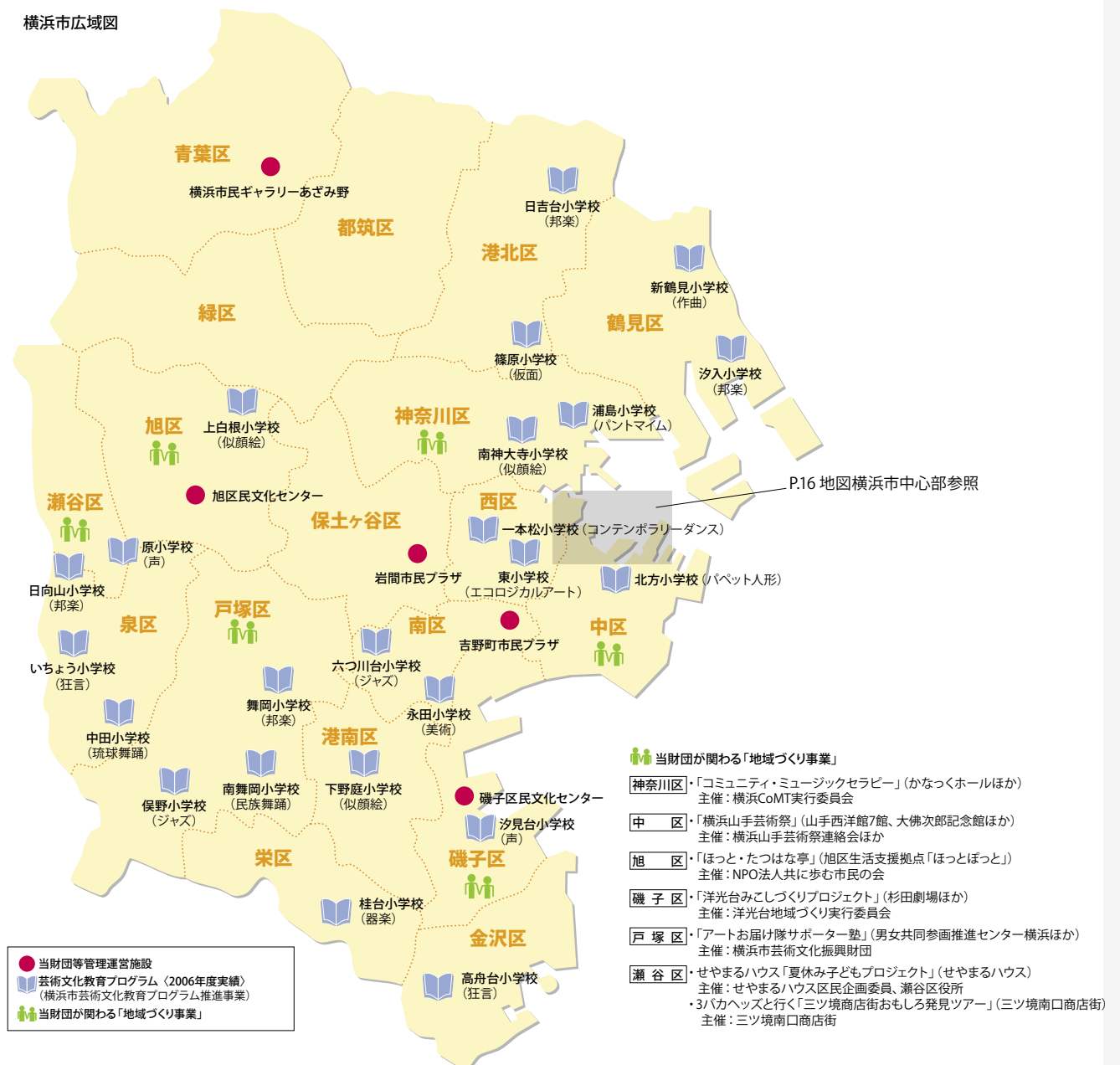
当財団の活動は横浜市の中心部だけに留まりません。横浜市の人口は約360万人。東京23区に次ぐ大都市です。横浜市民が、区民文化センターや市民プラザといった地域の文化拠点施設を中心に、地元で気軽に芸術文化にアクセスできる機会の創出に力を入れています。質の高い美術展やコンサート、舞台公演の鑑賞機会の提供、ワークショップや講座、地元文化団体への練習場や発表の場の提供など、生活の中に芸術文化が自然に存在する環境を創造することで、質の高い市民生活をおくることのできる「横浜」を実現していきます。

また現在は、施設を飛び出し、地域を舞台に市民が

主体的に芸術文化活動を行うための取り組み「地域づくり事業」を展開しています。2005年からはアーティストを講師に、子どもたちが学校で美術や音楽、演劇、古典芸能などを体験する「芸術文化教育プログラム」にも取り組み始めました。

これらの活動は、財団だけでなく、地元 NPOや企業・商店街、アーティスト、そして学校と、地元で活動拠点を持つ組織と協働して行なっています。事業実施のノウハウが地域に蓄積され、地域で主体的に活動する市民の企画力が向上し、地域に活力が生まれるといった事例が生まれています。

横浜市広域図



## 施設紹介



### 横浜美術館

住所：〒220-0012  
横浜市西区みなとみらい3-4-1  
電話：045-221-0300 FAX：045-221-0317  
URL：<http://www.yaf.or.jp/yama/>

・展示室(7室)	2,668㎡
・アートギャラリー1・2	362㎡
・市民のアトリエ	586㎡
・子どものアトリエ	631㎡
・美術情報センター	935㎡
・グランドギャラリー	1,143㎡
・ミュージアムショップ・カフェ	375㎡
・レクチャーホール	240席



### 横浜みなとみらいホール

住所：〒220-0012  
横浜市西区みなとみらい2-3-6  
電話：045-682-2020  
FAX：045-682-2023  
URL：<http://www.yaf.or.jp/mmh/>

・大ホール	2,020席
・楽屋	12室
・リハーサル室	212㎡
・パイプオルガン (C.B.フィスク社製)	
・小ホール	440席
・楽屋	4室
・レセプションルーム	176㎡
・音楽練習室	6室



### 横浜能楽堂

住所：〒220-0044  
横浜市西区紅葉ヶ丘 27-2  
電話：045-263-3055  
FAX：045-263-3031  
URL：<http://www.yaf.or.jp/nohgaku/>

・本舞台	486席
・第二舞台	定員約60名
・楽屋	4室
・研修室	4室



### 横浜にぎわい座

(共同事業体：(株)横浜アーティスト)  
住所：〒231-0064  
横浜市中区野毛町3-110-1  
電話：045-231-2525  
FAX：045-231-4545  
URL：<http://www.yaf.or.jp/nigiwaiza/>

・芸能ホール	391席
・小ホール	141席、215㎡
・練習室	53㎡
・制作室	35㎡



### 横浜赤レンガ倉庫1号館

住所：〒231-0001  
横浜市中区新港1-1-1  
電話：045-211-1515  
FAX：045-211-1519  
URL：<http://www.yokohama-akarenga.jp/>

・ホール	約376㎡ (15.3m×24.6m)
・スペース	3室 各室約186㎡ (10.7m×17.4m)



### 大佛次郎記念館

住所：〒231-0862  
横浜市中区山手町113  
電話：045-622-5002 FAX：045-622-5071  
URL：<http://www.yaf.or.jp/facilities/osaragi/index.htm>

・記念室	39㎡
・展示室	35㎡
・閲覧室	6席
・サロン	75㎡
・会議室	20席
・和室	62㎡



### ZAIM(ザイム)

住所：〒231-0021  
横浜市中区日本大通34  
電話：045-222-7030 FAX：045-662-0509  
URL：<http://za-im.jp/>

・2Fホール	288㎡
・シアター	119㎡
・スペース(全20室)	10㎡~220㎡
・ACYラウンジ	
・ZAIM CAFE	



### 横浜市民ギャラリー

住所：〒231-0031 横浜市中区万代町1-1  
横浜市教育文化センター内  
電話：045-224-7920 FAX 045-224-7928  
URL：http://www.yaf.or.jp/ycag/

・1F展示室	273㎡
・2F展示室	133㎡
・3F展示室A	349㎡
・3F展示室B	304㎡
・3F展示室C	344㎡



### 横浜市民ギャラリーあざみ野

住所：〒225-0012  
横浜市青葉区あざみ野南1-17-3  
アートフォーラムあざみ野内  
電話：045-910-5656 FAX：045-910-5674  
URL：http://www.yaf.or.jp/azamino/

・展示室1	348㎡
・展示室2	286㎡
・アトリエ	142㎡
・アートブラザ	168㎡



### 関内ホール

(共同事業体：(株)tvkコミュニケーションズ(代表団体)、  
(株)テレビ神奈川、(株)相鉄エージェンシー、(株)清光社)  
住所：〒231-8455  
横浜市中区住吉町4-42-1  
電話：045-662-1221 FAX：045-662-2050  
URL：http://kannaihall.jp/

・大ホール	1,102席
・楽屋	4室
・小ホール	264席
・楽屋	1室
・リハーサル室	4室



### サンハート 横浜市旭区民文化センター (共同事業体：(株)横浜アーティスト)

住所：〒241-0821  
横浜市旭区二俣川1-3 二俣川ライブ5F  
電話：045-364-3810 FAX：045-391-6930  
URL：http://www.yaf.or.jp/sunheart/

・ホール	300席
・楽屋	2室
・音楽ホール	103席
・アートギャラリー	110㎡
・カルチャー工房	1室
・音楽工房(スタジオ)	4室
・ミーティングルーム	2室
・情報コーナー	



### 杉田劇場 横浜市磯子区民文化センター

住所：〒235-0033  
横浜市磯子区杉田1-1-1らびすた新杉田4F  
電話：045-771-1212 FAX：045-770-5656  
URL：http://www.sugigeki.jp/

・ホール	310席
・楽屋	4室
・リハーサル室	100㎡
・練習室	3室
・会議室	3室
・ギャラリー	110㎡
・情報コーナー	



### 横浜市吉野町市民プラザ

住所：〒232-0014  
横浜市南区吉野町5-26  
電話：045-243-9261 FAX:045-243-9263  
URL：http://www.yaf.or.jp/facilities/  
yoshino/index.htm

・ホール	200席
・楽屋	1室
・ギャラリー	140㎡
・スタジオ	3室
・会議室	1室



### 横浜市岩間市民プラザ

住所：〒240-0004  
横浜市保土ヶ谷区岩間町1-7-15  
電話：045-337-0011 FAX：045-337-2500  
URL：http://www.yaf.or.jp/facilities/iwama/  
index.htm

・ホール	185席
・楽屋	2室
・ギャラリー	85㎡
・リハーサル室	54㎡
・スタジオ	4室
・レクチャールーム	



**財団法人 横浜市芸術文化振興財団**

〒231-0003 横浜市中区北仲通4-40 商工中金横浜ビル5階  
電話：045-221-0212(代) FAX：045-221-0216  
<http://www.yaf.or.jp/>